

ご利用企業各位

e-お菓子ねっと  
富士通エフ・アイ・ピー株式会社**次期システム稼働時のテスト用取引先コード廃止のご連絡**

拝啓 貴社益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

e-お菓子ねっとでは、次期システムへの移行に伴い、データ検証用のテスト用取引先コードを廃止させていただきます。つきましては、下記の内容について、ご確認をお願い致します。

敬具

記

- 「1. テスト用取引先コード廃止の内容」に記載のテスト用取引先コードをご利用の場合のみ、  
「2. ご依頼事項」に従い、ご対応をお願い致します。

**1. テスト用取引先コード廃止の内容**

2000年10月のe-お菓子ねっと移行時に期間限定で、提供させていただきましたテスト用取引先コード※1は、次期システムへは移行致しません。

※1 テスト用取引先コード

取引先コードの先頭1桁目が、8または9の取引先コード

例) 本番用取引先コード 0 1 2 3 4 5 6 7

テスト用取引先コード 8 1 2 3 4 5 6 7 (現行フォーマット用)

〃 9 1 2 3 4 5 6 7 (旧フォーマット用)

**2. ご依頼事項**

## (1) 新規取引先コードの登録申請

ご利用企業様が今後も”テスト用取引先コード”を使ったテストをご希望の場合は、新規取引先コードを取得するため申請をお願い致します。お菓子ねっとセンターにて、先頭1桁目が0の取引先コードを発行致します。

注1) 通常、e-お菓子ねっとでは、既存の本番用取引先コードをご使用いただき御様とメーカー様とでテストを進めていただいております(標準的なテスト方式)。この場合は新規取引先コードの登録申請は必須ではありません。

注2) テストデータの送受信方式と作成例につきましては、添付(添付資料1)しております。申請をお考えのご利用企業様はご参考にして下さい。

## (2) 申請時期

2015年9月30日(水)までに、ご申請いただければ次期システムでも新しいテスト用取引先コードをご利用可能になるよう対応致します。

注) 申請時期を過ぎた場合は、次期システム開始時点で新規取引先コードはご利用いただけません。次期システム稼働後、ご利用可能になるよう登録致します。

## (3) お申込書の取引先名

お申込書の取引先名は、テスト用とわかる取引先名として下さい。取引先名以外の項目は、e-お菓子ねっとホームページの記入例(新期のお申込みの場合)に従いご記入をお願いします。

例) 本番用取引先名 : 富士通菓子東京本社

↓

お申込書の取引先名 : 富士通菓子東京本社(テスト用)

### 3. お問い合わせ窓口

以下の情報をご記入の上、Eメールにてお問い合わせをお願い致します。

- ・タイトル : eーお菓子ねっとテスト用取引先コード廃止
- ・本文 : 取引先コード (代表 数字8桁)、御社名、ご担当者様名、お電話番号、  
お問い合わせ内容
- ・問い合わせ先 : 富士通エフ・アイ・ピー (株) eーお菓子ねっと移行センター
- ・メール宛先 : [fip-eokashi-ikou@ml.fujitsu.com](mailto:fip-eokashi-ikou@ml.fujitsu.com)

以上

## 添付資料1

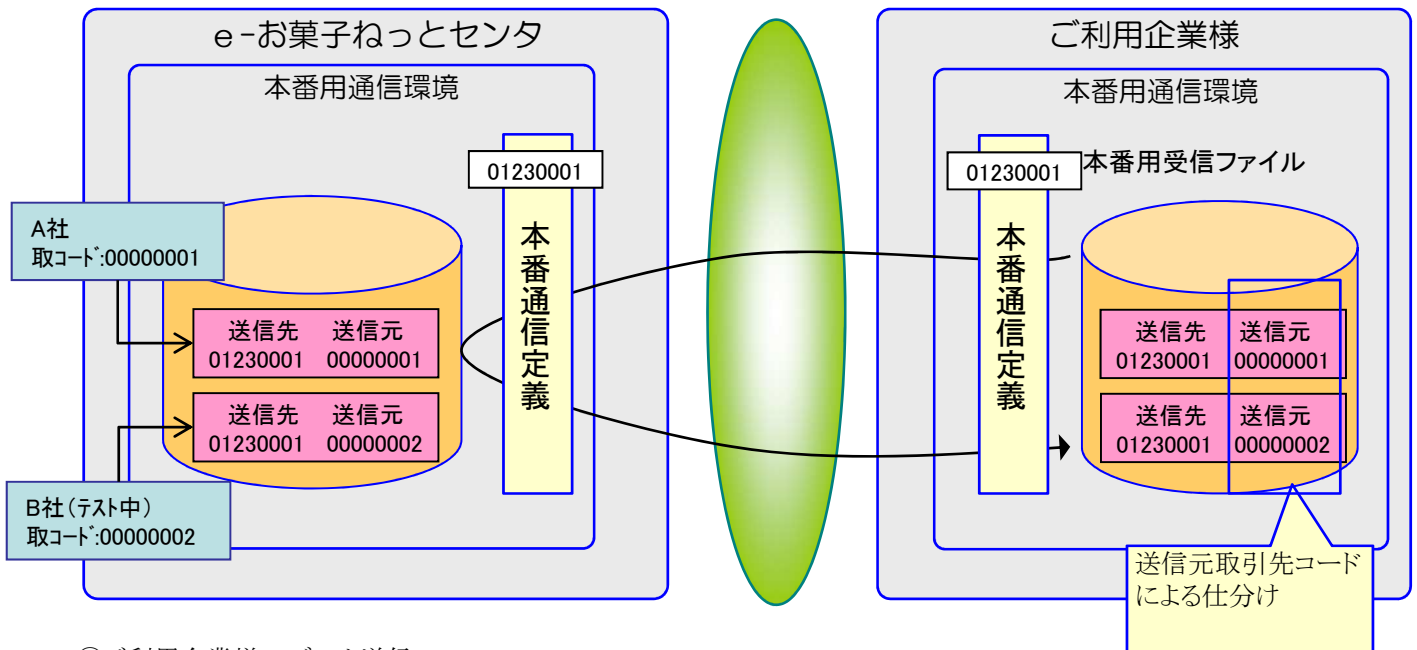
# 1. テストデータの送受信方式

テストデータの送受信を行う場合、「(1)標準的なテストデータの送受信方式」か、「(2)テスト用通信環境を使ったテストデータの送受信方式」のいずれかとなります。それぞれの送受信イメージは以下の通りです。

### (1)標準的なテストデータの送受信方式

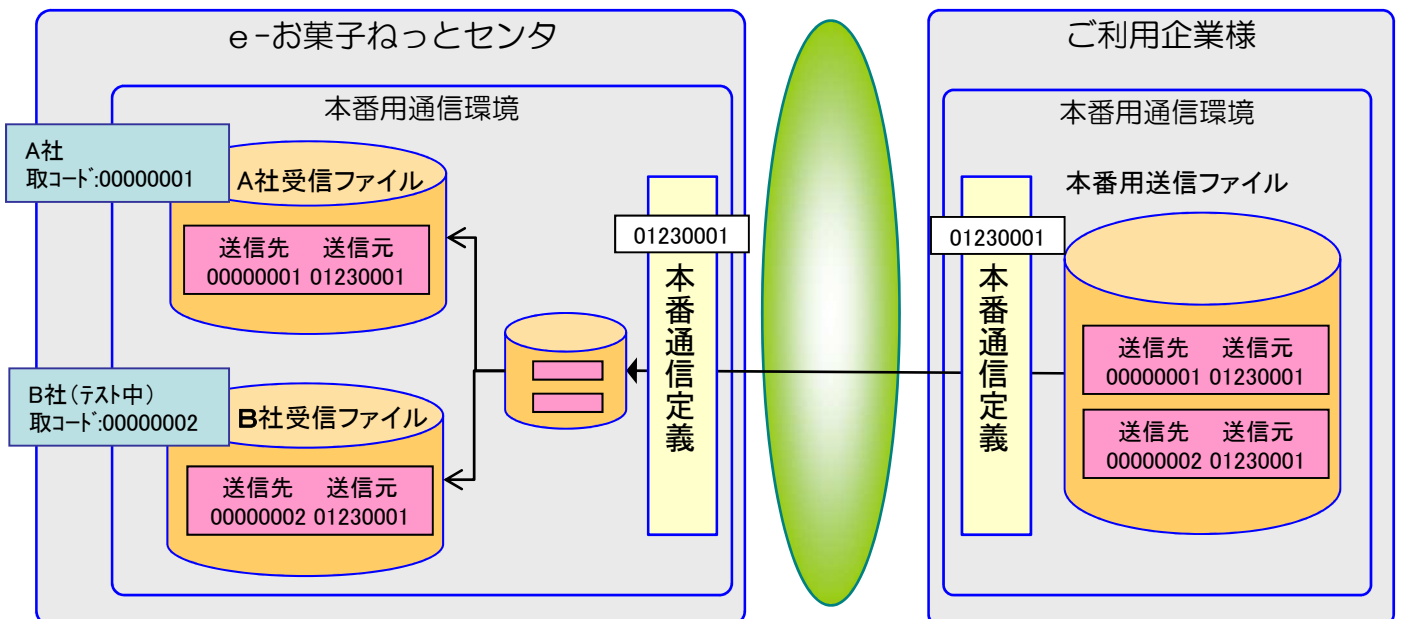
#### ①ご利用企業様のデータ受信

- ・本番受信ファイルに、本番データ(A社)とテストデータ(B社)を一緒に收容します。受信後にご利用企業様システムで、送信元取引先コードによって本番データ(A社)とテストデータ(B社)を仕分けしていただくことになります。



#### ②ご利用企業様のデータ送信

- ・本番用送信ファイルが本番データ(A社)とテストデータ(B社)を扱う送信ファイルとして共通となります。受信後に送信先取引先コードに従い、A社とB社のそれぞれの受信ファイルに配信セットします。

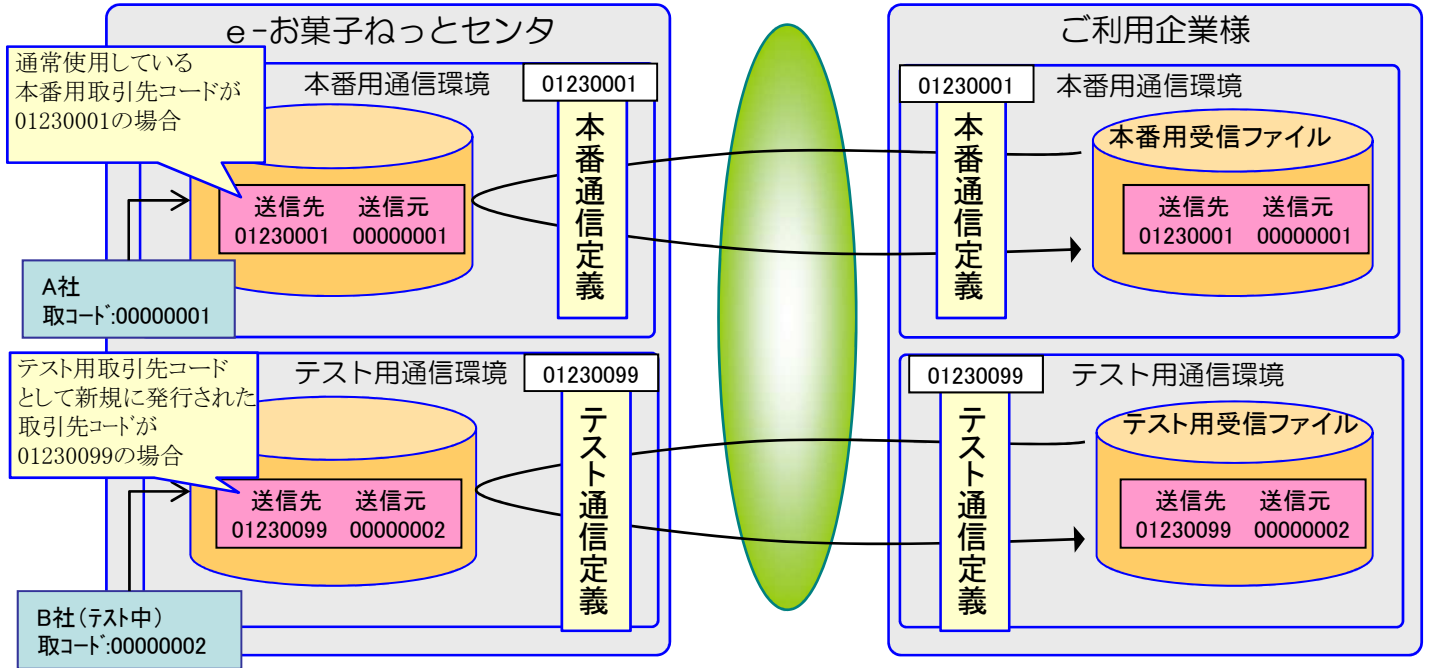


添付資料1

(2) テスト用通信環境でのテストデータの送受信方式

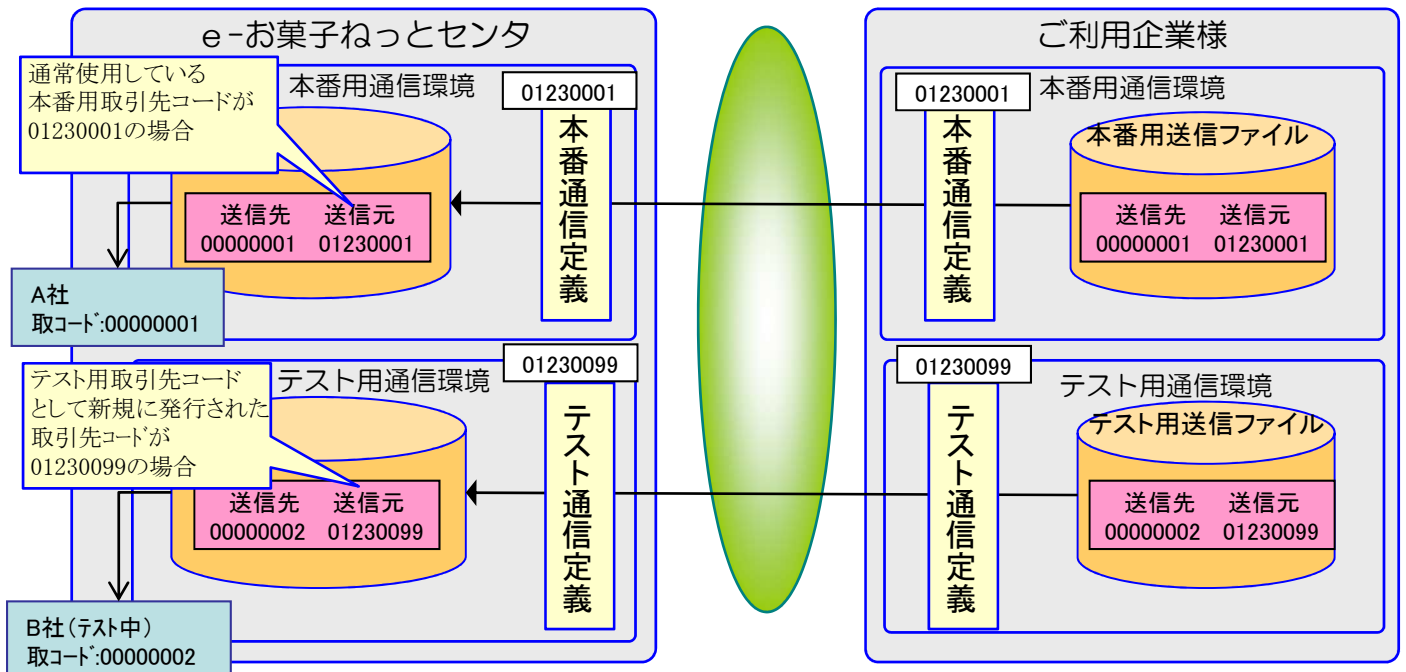
① ご利用企業様のデータ受信

・本番用とテスト用の受信ファイルのそれぞれに本番データとテストデータを別々に配信セットします。



② ご利用企業様のデータ送信

・本番用とテスト用を分けて送信いただきます。受信後に送信先取引先コードに従い、A社とB社のそれぞれの受信ファイルに配信セットします。



## 添付資料1

# 2. テスト用通信環境を使ったテストデータの作成例

### (1) ご利用企業様のデータ受信

#### ① ご利用企業様の取引先コード

- ・お申込みの結果、テストで使用する取引先コードが、新たに発行されます。

例)

	取引先コード (通信用、送信先、 送信元)	備考
本番用	01230001	既存の本番用取引先コード
テスト用	01230099	新たに発行されたテスト用取引先コード(先頭1桁目が0)

#### ② テストデータの取引先コードの値

受信するデータの取引先コードが以下の通りとなるよう、お取引先様とご調整下さい。

- ・送信先取引先コードには、ご利用企業様のテスト用取引先コードを設定します。
- ・送信元取引先コードには、お取引先様(相手)の取引先コードを設定します。

例) 発注データのテストデータ

データ種	送信先 取引先コード	送信元 取引先コード	伝票番号	品番
02(発注)	01230099	00000002	000001	ヒンパン1
02(発注)	01230099	00000002	000001	ヒンパン2
02(発注)	01230099	00000002	000001	ヒンパン3

ご利用企業様の  
テスト用取引先コード  
を設定します

お取引先様(相手)の  
取引先コード  
を設定します

## 添付資料1

### (2)ご利用企業様のデータ送信

#### ①ご利用企業様の取引先コード

- ・お申込みの結果、テストで使用する取引先コードが、新たに発行されます。

例)

	取引先コード (通信用、送信先、 送信元)	備考
本番用	01230001	既存の本番用取引先コード
テスト用	01230099	新たに発行されたテスト用取引先コード(先頭1桁目が0)

#### ②テストデータの取引先コードの値

送信するデータの取引先コードが以下の通りとなるよう、事前にお取引先様にご連絡下さい。

- ・送信先取引先コードには、お取引先様(相手)の取引先コードを設定します。
- ・送信元取引先コードには、ご利用企業様のテスト用取引先コードを設定します。

例) 発注データのテストデータ

データ種	送信先 取引先コード	送信元 取引先コード	伝票番号	品番
02(発注)	00000002	01230099	000001	ヒンバン1
02(発注)	00000002	01230099	000001	ヒンバン2
02(発注)	00000002	01230099	000001	ヒンバン3

お取引先様(相手)の  
取引先コード  
を設定します

ご利用企業様の  
テスト用取引先コード  
を設定します